### 施設定期検査に係る定期事業者検査の実績報告について

関 原 発 第317号 2019年11月5日

原子力規制庁長官 荻野 徹 殿

大阪市北区中之島3丁目6番16号 関西電力株式会社 取締役社長 岩根茂樹

「実用発電用原子炉施設に係る施設定期検査に関する運用要領」に基づき、 大飯発電所第4号機第16回施設定期検査に係る定期事業者検査実績について 別紙のとおり報告します。

# 大 飯 発 電 所 第 4 号 機

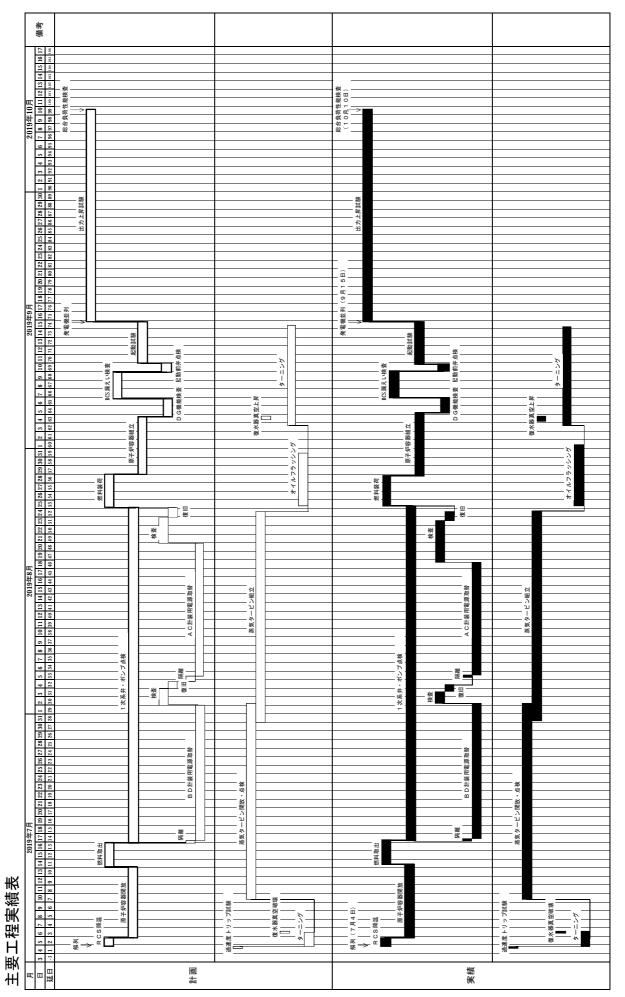
第16回施設定期検査に係る定期事業者検査の実績報告書

## 目 次

1.	<b>検査実施期間</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2.	施設定期検査に係る定期事業者検査実績 ・・・・・・・・・・・・・ 3
3.	施設定期検査期間中に実施した使用前検査対象工事等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.	施設定期検査成績書における所見及び処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
5.	放射線業務従事者の実績線量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 1

#### 1. 検査実施期間

松木安妆如朋	計	画	2019年7月4日~2019年10月10日並列日 2019年9月15日解列から並列までの日数 74日間解列から総合負荷性能検査日までの日数 99日間	
検査実施期間	実	績	2019年7月4日~2019年10月10日 並列日 2019年9月15日 解列から並列までの日数 74日間 解列から総合負荷性能検査日までの日数 99日間	
計画との相対	違		なし	



### 2. 施設定期検査に係る定期事業者検査実績

検 査 名	検査実績	備考
クラス1機器供用期間中検査	0	・別紙-1のとおり
燃料集合体外観検査	0	
燃料集合体炉内配置検査	0	
原子炉停止余裕検査	0	
燃料取扱装置機能検査	0	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	0	
クラス2機器供用期間中検査	0	・別紙-2のとおり
重大事故等クラス2機器供用期間中検査	0	・別紙-3のとおり
蒸気発生器伝熱管体積検査	0	
加圧器安全弁機能検査	0	
加圧器安全弁漏えい検査	0	
加圧器安全弁分解検査	0	
加圧器逃がし弁機能検査	0	
加圧器逃がし弁漏えい検査	0	
加圧器逃がし弁分解検査	0	
加圧器逃がし弁元弁機能検査	0	
主蒸気安全弁機能検査	0	
主蒸気安全弁漏えい検査	0	
主蒸気逃がし弁機能検査	0	
主蒸気逃がし弁漏えい検査	0	
主蒸気隔離弁機能検査	0	
非常用炉心冷却系機能検査	0	
非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	今回計画なし	・点検計画のとおり
非常用炉心冷却系主要弁分解検査	0	
その他原子炉注水系ポンプ分解検査	0	
その他原子炉注水系主要弁分解検査	0	
その他原子炉注水系機能検査	0	
原子炉補機冷却系機能検査	0	
補助給水系機能検査	0	
補助給水系ポンプ分解検査	今回計画なし	・点検計画のとおり
最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	0	
制御用空気圧縮系機能検査	0	
制御棒駆動系機能検査	0	

検 査 名	検査実績	備考
ほう酸ポンプ分解検査	今回計画なし	・点検計画のとおり
ほう酸ポンプ機能検査	今回計画なし	・点検計画のとおり
安全保護系機能検査	0	
安全保護系設定値確認検査	0	
重大事故時安全停止回路機能検査	0	
プラント状態監視設備機能検査	0	
エリアモニタ機能検査	0	
中央制御室非常用循環系機能検査	0	
中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	0	
原子炉格納容器全体漏えい率検査	今回計画なし	・点検計画のとおり
原子炉格納容器局部漏えい率検査	0	
原子炉格納容器隔離弁機能検査	0	
原子炉格納容器隔離弁分解検査	0	
原子炉格納容器安全系機能検査	0	
原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	今回計画なし	・点検計画のとおり
原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	0	
原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	0	
アニュラス循環排気系機能検査	0	
アニュラス循環排気系フィルター性能検査	0	
非常用ディーゼル発電機分解検査	0	
非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	0	
非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	0	
その他非常用発電装置の機能検査	0	
直流電源系機能検査	0	
直流電源系作動検査	0	
蒸気タービン開放検査	0	
蒸気タービン性能検査	0	
供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	0	・別紙-4のとおり
供用期間中特別検査のうちクラス 1 機器 Ni 基合金使用部位特別検査	0	・別紙-5のとおり
総合負荷性能検査	0	
可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	今回計画なし	・点検計画のとおり

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

1. 原子炉容器(1/2)

W 7 VW - 1	\-\##.D	2/ 維持規格 JSME S NA1-2008	8						大飯発	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)	引機 検査	計画(10力:	年)					
旧日来中	二 作 件 千	出班条件分类类	44.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	存本符目	記備粉	44444444444444444444444444444444444444	4000年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 2	23年	2024年 2	2025年 2	2026年 2	2027年	華 赤
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	21.5	快重の刈氷面別	快量刀体	供量制品	以開教	_	は、日本に	第一回	ш	第17回	第一回	第18回	Н	Н	Н	第21回	第22回	
	_	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の 5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	I			I	100%		ı			Ū	(重大事故等クラス2機器)
B2. 111	B-B	下部胴とトランジションリングとの 周溶接継手	体積	全長の 5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	-			_	100%		1				(重大事故等クラス2機器)
	_	トランジションリングと下部鏡板との 周溶接継手	体積	全長の 5%	1箇所	水中(大)	100%	ı			ı	100%		1				(重大事故等クラス2機器)
B3. 105	В-С	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の 100%	1箇所	水中(大)	100%	ı			ı	100%		1				(重大事故等クラス2機器)
10	0	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	全数の 100%	4箇所	水中(大)	各100%	ı			ı	C, B		1				(重大事故等クラス2機器)
2	 	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の 100%	4箇所	水中(大)	各100%	I			I	C, D		1				(重大事故等クラス2機器)
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	全数の 100%	4箇所	水中(八)	各100%	1			ı	A, B C, D		ı				出口管台内面は形状的に検 査不可能 (重大事故等クラス2機器)
O F	ں ا	冷却材入口管台とセーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	全数の 100%	4箇所	UT及び PT	各100%	I			-	A, B(PT) A, B C, D (水中UT)		ı	C (PT)	D (PT)	)	(重大事故等クラス2機器)
2		冷却材出口管台とセーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	全数の 100%	4箇所	UT及び PT	各100%	I	A (PT)		-	B, C(PT) A, B C, D (水中UT)	(PT)	-			)	(重大事故等クラス2機器)
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	全数の 100%	54個	VT-1	100%	ı	7	7	-	12	7	Ι	7	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B6. 30	B-G-1	−G−1 スタッドボルト	体積	全数の 100%	54本	F	100%	ı	7	7	ı	12	7	1	7	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の 100%	54箇所	- L	可能範囲 100%	ı		18	ı		18	1		18	1,1-0	ガイドスタッド近傍は検査不可能 可能 (重大事故等クラス2機器)
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の 100%	54個	VT-1	100%	ı	7	7	1	12	7	1	7	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンクランプ 用ボルト・ナット	VT-1	全数の 25%	3箇所/ 1組×4組	VT-1	25% (1組)	ı		1組 #66	ı			1				(重大事故等クラス2機器)
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の 7.5% 各検査時期毎	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100% 約3年毎	ı	lπ	可能範囲 100%	ı	lα	可能範囲 100%	1	la.	可能範囲 100%		(重大事故等クラス2機器)
<b>G</b> 1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の 7.5%	6箇所	VT−3 (米申TV)	可能範囲 100%	I			ı	可能範囲 100%		ı				下部炉心構造物取出し時に 実施 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

1. 原子別	. 原子炉谷器(2/2)	!] 維持規格 JSME S NA1-2008	8003						大飯発電所	電所 第4号機	引機 検査言	検査計画(10力年	(H					
西田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	- T- H-F	2. 14 0 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	******	4 年	元准米	******	表 条 件 件	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	猫 赤
項ロ苗つ		使且のが多面が	快量刀体	快量地四	<b>京文 17月 玄</b> 文		快里靶	第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	
G1. 40	G1.40 G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1番	VT一3 (水中T V)	可能範囲 100%	I		可能範囲 100%	1			ı				重大事故等クラス2機器)
<b>G</b> 1. 50	G1.50 G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1番	VT-3 (水中T V)	可能範囲 100%	-		可能範囲 100%	Ι			ı				下部炉心構造物取出し時に 実施 (重大事故等クラス2機器)
C	 [ [	制御棒駆動ハウジングの溶 接継手(上部)	体積又は	最外周	最外周 20箇所 (全62箇所)	à	最外周可能範囲	1	-		1	6	6	1	c	-	-	第11回 原子炉容器上蓋取替に伴い上部を対象箇所として追加
<u>f</u>	)	制御棒駆動ハウジングの溶 接継手(下部)	·····································	722%	最外周 24箇所 (全66箇所)	Ī	25% (11箇所)	l	-	ય	l	ų	ų	l	ı	-	-	1.構造上UTは不可 2.上部は構造的に実施困難 (重大事故等クラス2機器)
B15. 10 B-P	В-Р	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	4	VT-2	100%	ı	•	0	ı	0	0	ı	0	0		重大事故等クラス2機器)
F1. 41 F-A	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%	8箇所	VT-3	25% (2個所)	ı		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	1	田口		1				但し、目視可能な範囲のみと する。 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

2. 加圧器(1/2)	(1/2)	維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発	電所 第4号	号機 検査	7							_
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	備考	
00	0 1 0	上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	5	2%	I	%9		ı			I				(重大事故等クラス2機器)	
	<u>0</u>   	下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	5	2%	I			ı			ı	2%			(重大事故等クラス2機器)	1
		上部胴の長手継手	体積	全長の 10%	2箇所	5	各10%	ı	B5%	A10%	ı	B5%		ı				(重大事故等クラス2機器)	1
B2. 12	B – B	中間胴の長手継手	体積	全長の 10%	2箇所	5	各10%	ı		A10%	ı			ı		B10%		(重大事故等クラス2機器)	1
		下部胴の長手継手	体積	全長の 10%	2箇所	5	各10%	ı			ı		A10%	ı			B10%	(重大事故等クラス2機器)	1
0	0 1 0	上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	5	2%	ı		2%	ı			ı				(重大事故等クラス2機器)	1
	0   0	中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	5	2%	ı			-	2%		-				(重大事故等クラス2機器)	
		安全弁用管台と容器との溶接継手			3箇所														
30	כ ו מ	逃がし弁用管台と容器との溶接継手	休辞	全数の	1箇所	Ē	か 必 め の 8%	ı	メルプトインと		ı	逃がし弁		ı				(青七重功等カラスの推奨)	
	נ	スプレイ用管台と容器との溶接継手	K	25%	1箇所	5	(2箇所)		I II E			1000						(エハナ 以 サンノハ と ) なお (土)	
		サージ用管台と容器との溶接継手			1箇所														
		安全弁用管台内面の丸みの部分			3箇所														
6	C   	逃がし弁用管台内面の丸みの部分	###	全数の	1箇所	Ē	<b>全然の</b>		メルフイ			迷がし弁		ı				(年十重廿年75~04年)	
	מ	スプレイ用管台内面の丸みの部分	<b>₹</b>	25%	1箇所	5	(2箇所)		п ш Е			E 伽		l				(黒八井以寸ノノヘ4版計)	
		サージ用管台内面の丸みの部分			1箇所														

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

	_										
		雷 赤		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)
		2027年	第22回							0	
		2026年	第21回					1		0	
		2025年	第20回							0	
		2024年	第一回		ı	l		ı	1	1	-
	年)	2023年	第19回		安田衛台	A TO		-		0	100%
	十画(10力)	2022年	第18回		ナ田 一種 ジセ			-	7. 5%	0	
	機 検査	2021年 2	第一回					ı	1	ı	-
	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	2020年 2	第17回					-		0	
	大飯発育	2019年 2	第16回							•	
	1	Н	第一回		ı	l		ı	-	ı	-
		3 田柴安林	Щ		33%	(2箇所)		25% (4本)	7.5%	100%	100%
		松木七江			*	<u>.</u>		VT-1	T0	∨т−2	VT-3
		54 保架 特	-1	3箇所	簡所	(角)	1箇所	16本/ 1箇所× 1基	1箇所	1 計	1箇所/
		松水 統田	1	69	-	25%	-	全数の 16 25% 16	全長の 7.5%	漏えい 検査時 100%	全数の 16 25%
		<b>松木七江</b>			体積及び			VT−1 \$	表面又は 全体積 7	派 VT-2 検 1	VT−3
		4	Ķ.					5	表面	5	5
	維持規格 JSME S NA1-2008	出册条件分类教	大量の対象回び	安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手	サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手	B7.20 B-G-2マンホール取付ボルト	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	圧力保持範囲	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)
(2/2)		ニデーナー			և   	<u>-</u>		B-G-2	В-Н	В-Р	F-A
2. 加圧器(2/2)		西米日里	公口用つ		ם ה ה	) 1		B7. 20	B8. 20	B15. 20 B-P	F1. 41 F-A

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

3. 蒸河	3. 蒸気発生器(1/1	1) 維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発電所	電所 第4号	号機 検査	第4号機 検査計画(10力年)	年)					
項目番号	き カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一同	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一同	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年第一日	2025年 第90回	2026年 第91回	2027年 第99回	事 赤
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	<u></u> 10	代表1基 の25%	- 1	₩ 4 % 6	I S	II R	8% 8%		I I	8% 8%			重大事故等クラス2機器)
0 0 0		冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体注	代表1基令数9		Ē	代表1基 の50%	ı			ı	۵		ı				第十重 井笠 カニッの機能)
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分	<del>*</del>	25%		5	(1箇所/1基)					入口側						半八十以 守ノノヘと (双前)
1 1	ں ا	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶 接継手	体積及び	代表1基	1箇所/ 1基×4 基	が数TU	代表1基の 50%	I		B (UT)	I			I				* 1  重大事故等クラス2機器
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶 接継手	<b>基</b>	25% 25%	1箇所/ 1基×4 基		(1箇所/1	I		B (UT)	1			I				* 1 (重大事故等クラス2機器)
11	(	1 次倒マンホールボルト(入口側)	ţ	代表1基	16本/ 1基×4 基	ţ	代表1基 の50%			ト トロ側		ト トロ 魚			トロ側			、田業のイニア政弁単十半
09		- 1 次倒 レンキーンボント(田口側)	-    -	上 25%	16	-    -  -	(16本/1基)	I		4 ₩		₩9			₩9			里入事 吹守 プラス (
B8. 30	В-Н	水室鏡とサポートパッドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%	4箇所/ 1基×4 基	PT	代表1基 の25% (1箇所/ 1基)	-		A1	I			I				重大事故等クラス2機器)
B15. 30	30B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	•	0	I	0	0	1	0	0	0	重大事故等クラス2機器
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所/ 1基×4 基	VT-3	代表1基の 100% (4箇所)	ı			ı	Α4		1				重大事故等クラス2機器

\*1:検査方法のうちUTIこついては、NISA文書「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について」の検査対象

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

	布		重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)			重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)			(重大事故等クラス2機器)
	2027年 第22回		1 D		ю		1	٦	-	F	٦			1		F	1	٦	F	
	2026年 第21回		1 D				1	1	8			1		1					2	
	2025年 第20回		2 C, D				2	1	8	-			1	1	1				-	
	2024年 第一回	1	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	-	I	I	ı	I	I	-
年)	2023年 第19回	1	1 B	-	٢	٢	1	1	-	2		1		1					٢	1
検査計画(10力年	2022年 第18回		2 A. C		-		2	1	е		1		2	1	1				-	
第4号機 検査	2021年 第一回	I	I	l	ı	ı	Ţ	I	ļ	l	I	ı	Ţ	1	Ţ	I	I	Ţ	ı	-
大飯発電所 第	2020年 第17回		3 B, C		-	-	3	2	е	-				2	1			1	-	1
大飢	2019年 第16回		ΝФ	-	-		1	1	8	-	1	1	1	1				1	-	
	2018年 第一回	1	1	ı	ı	1	-	1	1	ı	1	1	1	_	-	ı	1	1	ı	-
	検査範囲	25% (1箇所)	25% (12箇所)	25% (2箇所)	25% (7箇所)	33% (2箇所)	25% (11箇所)	25% (8箇所)	25% (14箇所)	27% (6箇所)	25% (3箇所)	25% (3箇所)	28% (4箇所)	25% (8箇所)	30% (3箇所)	100% (1箇所)	50% (1箇所)	27% (3箇所)	27% (8箇所)	33% (2箇所)
	検査方法	VT-1	ъ	5	5	5	5	72	5	5	72	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT
	設備数	4組/ 1箇所 ×4箇所	48箇所	8箇所	27箇所	6箇所	43箇所	32箇所	56箇所	22箇所	12箇所	12箇所	14箇所	32箇所	10箇所	1箇所	2箇所	11箇所	29箇所	6箇所
	検査範囲	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%
	検査方法	VT-1	体積	体積	体積	体積	体積	体積	体積	体積	体積	基面	秦面	表面	表面	表面	表面	秦面	表面	表面
幣 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	1次冷却材ポンプ封水注入 ライン(A, B, C, Dループ)	1次冷却材管	加圧器サージライン	加圧器安全弁ライン	加圧器逃がし弁ライン	加圧器スプレイライン	余熟除去ポンプ入ロライン	SIS蓄圧注入ライン	SIS高温側低圧注入ライン	SIS低温側低圧注入ライン	加圧器逃がし弁ライン	加圧器補助スプレイライン	甘出及びドレンライン	CVCS充てんライン	CVCS充てんライン 閉止分岐管	余熟除去ポンプスロライン	1次冷却材ポンプ封水注入 ライン	SIS高温側高圧補助注入 ライン	SIS低温側高圧補助注入 ライン
維持規格		直径50mm 以下の圧 以下の圧 力保持用 ボルト締 め付け部				開催の開発を選り	接継手 (呼び径 100A以	ー 第 ( )							配 単 田 単 田 恵 田 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵 恵	接継手 (呼び径 100A未	瀬田:海十			
/3)	カテゴリ	B-G-2					٦ ا س									)   				
4. 配管(1,	項目番号	B7. 50					B9. 11									B9. 21				

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

4. 配管(2/3)	(8)	維持規	維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発	大飯発電所 第4号機		5	)年)						_
項目番号力	カテゴリ		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	備考	
B9. 31 E	В-Л	母管と管台との 溶接継手(呼び 径100A以上)	1次冷却材管	体積	全数 <i>の</i> 25%	9箇所	Þ	33%(3箇所)	I	-				-	ı		-		(重大事故等クラス2機器)	1
			1次冷却材管	表面	全数の 25%	32箇所	F	25% (8箇所)	ı	-	ю	ı	-	-	ı	-	-		(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	2箇所	ΡΤ	50% (1箇所)	ı			ı			1		F		(重大事故等クラス2機器)	
B9. 32	B-J	母管と管合との 溶接継手 (呼び径100A未 満)	SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	ı		1	I			ı				(重大事故等クラス2機器)	
		Ì	SIS高温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	Ā	50% (1箇所)	ı			I		-	ı					
			SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	ı			I			ı		٦		(重大事故等クラス2機器)	
			1次冷却材管	表面	全数の 25%	24箇所	PT	25% (6箇所)	1	1	2	ı	1		ı	1		1		
			加圧器補助スプレイライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	ı	1		I		-	ı					
0	- I 0	ンケット溶接	抽出及びドレンライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	ı		-	I		-	ı					
		兼	1次冷却材ポンプ封水注入ライン	表面	全数の 25%	62箇所	F	25% (16箇所)	ı	2	4	ı	ε	2	ı	-	2	2		
			SIS高温側高圧補助注入ライン	表面	全数の 25%	30億所	PT	26% (8箇所)	ı	2	2	ı	1	-	ı	-	٦			
			SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の 25%	16箇所	PT	25% (4箇所)	ı		1	ı	1		ı	-	٦		(重大事故等クラス2機器)	
B10. 20E	B-K	耐圧部分へ の支持部材 取付け溶接 継手	余熱除去ポンプスロライン	表面	全数の 25%	2箇所	ΡΤ	50% (1箇所)	ı			I			ı	1			(重大事故等クラス2機器)	1
B15. 50	50B-P	压力保持範囲	田	VT-2	漏えい 検査時 100%	1共	VT-2	100%	-	•	0	1	0	0	I	0	0	0	(重大事故等クラス2機器)	

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

	雷 赤	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)				(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)		(手士車 地等カニュロ雑型)
	2027年	三22年		4	-	-		-		8				
	2026年	用[2]			-	2		1	-	-			2	,
	2025年	三02年	1	2	-			-	-		-	-	2	
	2024年	回 	1	ı	I	ı	I	ı	ı	ı	ı	1	ı	
5年)	2023年	三月 三		ო			-		-	-	-		-	,
計画(10分	2022年	第18回	1	2	-	-		-1	-	8		-	-	
号機 検査	2021年	回 	1	1	I	ı	ı	ı	ı	ı	I	I	ı	
大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年	2020年	到/I/E		ო	2	-	-	2	2	-	-	-	ιο	,
大飯発	2019年	第16日 1	1	7	2	-		-		-			-	
	2018年	回 	ı	I	I	ı	I	ı	ı	ı	I	ı	ı	
	検査範囲	28%(2箇所)	30%(3箇所)	26% (16箇 所)	26%(8箇所)	26%(6箇所)	40%(2箇所)	25% (7箇所)	25%(6箇所)	26%(8箇所)	25%(3箇所)	30%(3箇所)	26% (12箇 所)	25%
	検査方法	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	!
	設備数	7箇所	10箇所	61箇所	30箇所	23箇所	5箇所	27箇所	24箇所	30箇所	12箇所	10箇所	46箇所	111111111111111111111111111111111111111
	検査範囲	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の 25%	全数の
	検査方法	VT – 3	Υ—3	VT-3	VT – 3	VT-3	VT – 3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	i i
維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	加圧器サージライン	加圧器逃がし弁ライン	加圧器スプレイライン	加圧器補助スプレイライン	抽出及びドレンライン	CVCS充てんライン	1次冷却材ポンプ封水 注入ライン	余熱除去ポンプ入口ライン	SIS蓄圧注入ライン	SIS高温側低圧注入ライン	SIS低温側低圧注入ライン	SIS高温側高圧補助 注入ライン	SIS低温側高圧補助
維持規格							₩	<b>炸</b> 構造	螯				_	
	カテゴリ							F-A						
	項目番号							F1. 10 F						

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

9. 1 次 小 型 内 ハ ノ (1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	維持	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	800						大飯発電店	<b>听 第4号模</b>	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	1(10力年)						
14 日来日	1,144	出版条件分外数	经本方法	松水饼田	記備粉	华本十年	松米提用	2018年 :	2019年 2	2020年 2	2021年 20	2022年 20	2023年 2	2024年 2	2025年	2026年	2027年	無地
ΕЩО	1	大旦の外外回の	ベヨング		以開來	水車ノル	1次月 40 四	第一回	第16回	第17回	第一回 第	第18回 第	第19回 第	第一回	第20回	第21回	第22回	
B6. 180	111	主フランジボルト	体積	代表1台の 25%	24本/ 1台×4台	L)	代表1台の 25% (6本/1台)	1	9 B		1			1				(重大事故等クラス2機器)
B6. 190 B-	- G – 1	B6. 190 B-G-1 土フランジ表面	VT-1	代表1台の 24箇所/ 25% 1台×4台	24箇所/ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6箇所/1台)	1	9		ı			1				ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B6. 200	. "	主フランジナット・ワッシャ	VT-1	VT-1 代表1台の 25%	24組/ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6組/1台)		9 B		1			1				(重大事故等クラス2機器)
B12. 20 B-	-L-2	B12. 20 B-L-2 ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	4	VT-3	代表1台の 100% (1台)	Iα	B 可能範囲		1			1				ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B15. 60 B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1共	VT-2	4001	1	•	0	1	0	0	1	0	0	0	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41 F-A		支持構造物	VT-3	代表1台の 25%	3箇所/ 1台×4台	E-17	代表1台の 100% (3箇所/1台)			А3	1			1				(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

項目番号力		# 神経中の Colvie of IVA I - ZOOS		_	1			_	大飯発雷所 箏	第4号楼 檢引	棒香計画(10力年	り年)				
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲 第	18年 201 一同 第1	年 2020年 同 第17回	2021年 第一同	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 20 第一同 第	2025年 2026年 第20回 第21回	6年 2027年 1同 第22回	華
		加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	⊕ ⊕	VT-1	代表1台 の100% (1台)	4								4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)
		1 本学	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	- 4V-RC- 054B	B.C.	ı			ı			4V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)
		A L C TC C THU	VT-1	代表1台 の25%	2台	γ VT-1 0	代表1台 の100% (1台)	_		1	4PCV- 452B		-			4PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	γ VT-1 0	代表1台 の100% (1台)	_	4PCV- 451A	1			-			4PCV-451A·B
		加圧器補助スプレイライン	VT-1	代表1台 の25%	1台	γ VT-1 0	代表1台 の100% (1台)	_	4V-CS- 169	1			-			4V-CS-169
B7. 70 B-	直径50mm 以下の圧 一Gー2 力保持用ボュ	m E HH 由丑な7.5に、ハーベン	VT-1	代表1台 の25%	1台	γ VT-1 0	代表1台 の100% (1台)	_	4V-RC- 017	1			-			4V-RC-017
	おいた部分	(1) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	VT-1	代表1台 の25%	2台	ντ-1 <i>σ</i>	代表1台 の100% (1台)	_		_		4LCV- 451	_			4LCV-451 4LCV-452
		CVCS充てんライン	Υ <u></u>	代表1台 の25%	2	VT−1	代表1台 の100% (1台)	1		I	4V-CS- 164		ı			4V-CS-164、4V-CS-166 (重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1台 の25%	2告	ντ-1 <i>σ</i>	代表1台 の100% (1台)	_		-	4PCV- 420		-			4PCV-420、4PCV-430 4V-RH-002A,・B (重大事故等クラス2機器)
		SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	8	ντ-1 <i>σ</i>	代表1台 の100% (1台)	_		_			$ \frac{4V}{1}$	4V-SI- 134C		4V-SF 134A・B・C・D 4V-SF 136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	γ VT-1 0	代表1台 の100% (1台)	_		1			-	4V-RH- 051B	RH- IB	4V-RH-051A·B 4V-SI-082B·C
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4	\ √T−1 0	代表1台 の100% (1台)	_		1			ı	4V-RH- 050D	RH- DD	4V-RH-050A·B·C·D (重大事故等クラス2機器)
		加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	3#	VT-3 0	代表1台 の100% (1台)	_	4V-RC- 055	1			-			4V-RC-055、4V-RC-056 4V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の100%	2台	VT-3 0	代表1台 の100% (1台)	_		-	4PCV- 420		_			4PCV-420、4PCV-430 4V-RH-002A,・B (重大事故等クラス2機器)
B12. 50B-	呼び径 B-M-2100Aを超 える弁箱	超 SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4 <u>□</u>	VT-3 0	代表1台 の100% (1台)	ı	4V-SI- 134B	ı			ı			4V-SF 134A・B・C・D 4V-SF 136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3 0	代表1台 の100% (1台)	_		1		4V-RH- 051A				4V-RH-051A·B 4V-SI-082B·C
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3 0	代表1台 の100% (1台)	_	4V-RH- 050D	1						4V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
B15. 70 B-	—P 压力保	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	# #	VT-2	100%	_	0	ı	0	0	ı	0	0	(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査実績及び計画

_																							
	壷 赤		4V-RC-055, 4V-RC-056	4V-RC-057	重大事故等クラス2機器)	4V BC 054A.B	4A-KC-034A.D 第十世 4年 4年 4年 7年	(里入事政寺/ノフヘム(城部)	BCV 453A.B	#FCV - 432A・D  帯 十 抽 甘 絣 ケルレ c 補 器)	(半人中央中/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/		IPCV-451A·B			4V-CS-169		II CV 461	ECV-431	HCV -432	4PCV- 4PCV-420, 4PCV-430	4V-RH-002A,·B	重大事故等クラス2機器)
	2027年	第22回	,	7				_			_		7			7				•	4PCV-	420	-
	2026年	第21回																4LCV-	452	7			
	2025年	第20回													4V-CS-	169	_						
	2024年	第一回		I			I			ı			ı			ı			ı			ı	
	2023年	第19回										4PCV-	451B	0									
10万年)	2022年	第18回							4PCV-	452A	0												
大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年	2021年	第一回		I			I			ı			I			ı			ı			I	
F 第4号機	2020年	第17回	4V-RC-	055	-	4V-RC-	054B	8															
大飯発電所	2019年	第16回																					
	2018年	第一回		ı			ı			I			I			I			ı			I	
	なみ サナサ なみ 毎 田	快量地四	代表1台	0100%	(1箇所)	代表1台	Ø100%	(2箇所)	代表1台	Ø100%	(2箇所)	代表1台	Ø100%	(2箇所)	代表1台	0	(1箇所)	代表1台	Ø100%	(2箇所)	代表1台	VT-3 Ø100%	(1簡形)
	# # # #	快量力法		VT-3			VT-3			VT-3			VT-3			VT-3			VT-3			VT-3	
	記価数	以開教	1箇所/	10	×	2箇所/	10	×2中	2	11	×2中 ×	2箇所/	11	× 1 1	1箇所/	11	× 1 1 1	2筐	10	×2中	1箇所/	10	× 4.
	なみ サナ なみ 毎日	快量靶盘	4=14	日 2 2 2 2 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3	%SZ()	4年17	VT -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3 -3	W22W	4年14	VT-3 54-12	0753%	4年17	ロー ス ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ ロ ラ	07520	4年14	1	0,770	件=14	VI -8 -1X	W22W	4年17	ロ う う う う う う う う う う う う う う う う う う う	W22W
	<b>**</b> 字 ¥ 琴	快量刀法		VT-3			VT-3			XI-3			VT-3 545			XI-3			VT-3			VT-3	
維持規格 JSME S NA1-2008	<b>为水</b> 仓 计争 雅 片	19年 リング 米 固プ		加圧器安全弁ライン			_	世内閣等が1 サーク・	がこれノイノ	_	_		支持構造物 加圧器スプレイライン	_		甘田器権助スプフィライン VTー3 Coco	_		甘 丑 及 グドフソレイソ	_		余数除去ポンプスロライン VTー3   い気にいる	
維持規格	_												支持構造物										
	1,												F-A										
	田田田田	ゼロ世と											F1. 41 F-A										

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

		維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発育	雪所 第4号	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	-画(10力年	()					
相口第日	カニゴニ	<b>本米 6 社争</b> 解形	# 4 4	4 株 株	北州	***	4 4 4 4	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年 2	2018年	2019年	2020年	2021年 :	2022年	垂布
ゼロ苗ク	0110	仮旦の刈氷固別	快量力点	保重制四		医里刀法	恢星地面			第15回			第一回一	第16回	第17回	第一回一第	第18回	
C1. 10 C-A		管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	Ρ	代表1基の 7.5%	A 7. 5%					ı			ı	)	重大事故等クラス2機器)
C1. 20 C-A		管 側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	LΩ	代表1基の 7.5%						I			1	A 7. 5% (	重大事故等クラス2機器)
2000	0	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び	代表1基今数分	1箇所/1 基×2基	UT及び	UT及び 代表1基の			4								(四条)
. 2		管側出口管台と管側胴との溶接継手	<b>表</b> 面	7. 5%	1箇所/1 基×2基	PT	(1箇所/1基)			入口側							<i>-</i>	<b>手八字以 サンノヘと改計)</b>
C4. 10 C-D		全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	48本/1基 ×2基	F	代表1基の 100% (48本/1基)			A 16≉			I	A 16本	A 16★	1	)	重大事故等クラス2機器)

クラス 2機器供用期間中検査実績及び計画

	証 赤	n e	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(電大車が等カラスの機架)
	2022年	第18回						1	1		-				-	T
	2021年	第一回	I	I	I	I	I	I	1	I	I	I	1	I	I	ı
	2020年	第17回				1					٢		1			
	2019年	第16回		1	1		1				-	-	7	-		,
5年)	2018年	第一回	I	I	ı	I	I	I	ı	ı	I	I	ı	I	I	
計画(10)	2017年															
大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年	2016年															
電所 第4	Н	第15回								-	-				-	,
大飯発	2014年	•														
	2013年		-								-		-	-		
	格本部田	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	16%(1箇所)	50% (1箇所)	50% (1箇所)	100%(1箇所)	50% (1箇所)	50% (1箇所)	50% (1箇所)	25%(1箇所)	7.8%(5箇所)	50% (1箇所)	9%(4箇所)	12%(2箇所)	8%(2箇所)	7. 5%
	格本方法	_	Ā	PT	PT	ΡΤ	F	PT	PT	UT及び PT	F	F	UT及び PT	UT及び PT	UT及び PT	UT及び
	54 件数	XIIX	6箇所	2箇所	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	4箇所	64箇所	2箇所	44箇所	16箇所	24箇所	) htt
	格本部田	五二十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の
	格本方法 其	_	一面	表面	表面	表面	表面	表面	表面	体積及び 表面	体積又は 表面	体積又は 表面	体積及び 表面	体積及び 表面	体積及び 表面	体積及び
S JSME S NA1-2008			高圧注入ポンプ出ロライン	高圧注入ポンプ出口連絡 ライン	余熱除去ポンプ入口ライン	余熱除去冷却器出ロライン	SIS高温側低圧注入ライン	SIS低温側低圧注入ライン	格納容器再循環サンプ出口 ライン	充てんポンプ出ロライン 6	余熱除去ポンプ入口ライン	余熱除去ポンプ出ロライン	余熱除去冷却器出ロライン	SIS高温側低圧注入ライン	SIS低温側低圧注入ライン	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
維持規格						配管支持部 材取付け溶 接継手						呼び径100A	か超えの間 で公称厚さ が9.5mmを おって物味	発生でも対象		
(6)	カテゴロ	27 (2)				O     							LL			
5. HUB (1.	日来日虹	Ħ I				C3. 20 (							C5. 11 0			

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	華		全箇所、格納容器貫通部のた め検査不可 (重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)			(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)
	2022年	第18回	VII 20 C	)	)	)	1		1 (	-	1	1	)	1	3
	2021年	第一回	Ι	ı	ı	ı	I	ı	ı	ı	I	ı	I	I	1
	2020年	第17回					1			-			1		1
	2019年	第16回			-	٦	1		-	-	٦		1		
7年)	2018年	第一回	Ι	ı	I	ı	I	ı	I	ı	1	1	I	I	1
検査計画(10力年	2017年														
第4号機 検査	2016年	•													
	2015年	第15回						1		-	-	-			
大飯発電所	2014年	•													
	2013年			1			1							1	
	松本辞田	快量地四	I	16% (1箇所)	16% (1箇所)	25% (1箇所)	9% (4箇所)	8% (1箇所)	11% (2箇所)	10%(4箇所)	11% (3箇所)	10%(2箇所)	10% (2箇所)	10%(2箇所)	50% (1箇所)
	松水上许		I	PT	ΡŢ	ΡΤ	PT	PT	ΡŢ	ΡΤ	PT	PT	PT	PT	PT
	記備粉	以開致	2箇所	6箇所	6箇所	4箇所	44箇所	12箇所	17箇所	40箇所	27箇所	19箇所	20箇所	20箇所	2箇所
	松本作田	医甲靶四	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%
	44年		体積又は 表面	体積又は 表面	体積又は 表面	体積又は 表面	表面	至 至	至 至	至 至	茶	至 至	至 至	表面	<b>录</b>
S JSME S NA1-2008	なから社会部所		格納容器再循環サンプ出ロライ ン	燃料取替用水ピット出ロライン	余 熱除 去ポンプ 入口 ライン	燃料取替用水ピット出ロライン	高圧注入ポンプ出ロライン	封水注入ライン	高圧注入ポンプ出口連絡ライン	SIS低温側高圧補助注入ライン	SIS高温側高圧補助注入ライン	封水注入ライン	SIS低温側高圧補助注入ライン	SIS高温側高圧補助注入ライン	高圧注入ポンプ出ロライン
維持規格				<b>呼び径100Aを</b> 超える管で公 教局される	が厚 € / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 /				6 . N	溶接継手			ソケット溶接継手		呼び径50Aを超 える母管と管台 及び母管と枝 ; 管との溶接継 手
(5 / 7	二 丁 叶 千		<u>.</u>		L	L J			O - F				O – F		O – F
7. 昭.思.ス	西田米中	п	7 1	- - 3	С Т Ц				C5. 21				C5. 30		C5. 41

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	備考	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)			(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	
	2022年 第18回		1	-		-				-			-	-		
	2021年 第一回	1	ı	ı	ı	I	ı	I	I	ı	ı	1	ı	ı	ı	
	2020年 第17回				-	-				-	-				-	
	2019年 第16回		1	-	-	-	-	-	-	-		1	-	2		
年)	2018年 第一回	1	ı	I	I	ı	ı	1	1	I	ı	1	ı	I	ı	
計画(10大	2017年															
第4号機 検査計画(10力年)	2016年															
	2015年 第15回		8			-					-				-	
大飯発電所	2014年															
	2013年	1								-				-		
	検査範囲	100% (1箇所)	8%(4箇所)	13%(2箇所)	10%(2箇所)	9%(4箇所)	25%(1箇所)	50%(1箇所)	12%(1箇所)	9%(4箇所)	9% (2箇所)	9% (1箇所)	14%(2箇所)	8%(4箇所)	12%(2箇所)	12%
	検査方法	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	
	設備数	1箇所	47箇所	15箇所	20箇所	43箇所	4箇所	2箇所	8箇所	42箇所	21箇所	11箇所	14箇所	47箇所	16箇所	1
	検査範囲	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	今巻の
	検査方法 検	VT-3	VT – 3	VT – 3	×1-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT – 3	VT-3	VT-3	VT-3	ε – ⊥>	VT-3	VT-3	,
維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所検	充てんポンプ出ロライン	余熱除去ポンプ入口ライン	余熱除去ポンプ出ロライン	余熱除去冷却器出入ロライン	余熱除去冷却器出ロライン	余熱除去冷却器バイパスライン	SIS高温側低圧注入ライン	支持構造物 SIS低温側低圧注入ライン	高圧注入ポンプ出ロライン	封水注入ライン	高圧注入ポンプ出口連絡ライン	SIS高温側高圧補助注入ライン	SIS低温側高圧補助注入ライン	格納容器再循環サンプ出ロライン	
維持規格									友持構造物			=				•
(5)	カテゴリ								¥  -  -							
2. 配筒(3/3)	項目番号								F1. 21							

クラス 2機器供用期間中検査実績及び計画

3. 充てんボンブ		維持規格 JSME S NA1-2008	80						大飯発	電所 第4号	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)	計画(10力)	年)					
中日	1 1 1	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	# # #	4 十十 4 4 4 4 年		# # *	# # #	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	舗 赤
坝口笛万	現日笛写 カナゴウ	使軍の対象固別	快重力法	快宜靶齿		快重力法	快宜郫齿			第15回			第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	
c3. 30 C-C	0-0	ポンプ支持部材取付け溶接 継手	里拏	全数の 7.5%	16箇所/1 台×2台	PT	全数の9% (3箇所)			A 1箇所			I	A 1箇所	A 1箇所	I		(重大事故等クラス2機器)
C4. 30	0-0	C4.30 C-D ケーシングポルト	体積	代表1台 16本/1台 の7.5% ×2台	16本/1台 ×2台	ħ	代表1台の 12% (2本/1台)						ı	∢ <u>+</u>	∢ <del>‡</del>	ı		(重大事故等クラス2機器)
C6. 10	0-c	C6.10 C-G ケーシングの溶接継手	至面	代表1台 1箇所/1 の7.5% 台×2台	1箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 100% (1箇所/1台)						-			ı	A 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F1. 43 F-A	ポンプ台板脚	€-L^	VT-3 代表1台 2箇所/1 07.5% 台×2台	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)						I		A 100%	ı		(重大事故等クラス2機器)

4. 充てんポンプ(往復動式)

	無地		(重大事故等クラス2機器)
	2022年	第18回	
	2021年	第一回	I
	2020年	第17回	
	2019年	第16回	100%
)年)	2018年	第一回	I
計画(10力	2017年		
,4号機 検査	2016年		
電所 第	2015年	第15回	
大飯発	2014年		
	2013年		
	4 株 株 年	似耳即因	100% (1箇所/1 台)
	共十米会	快重力法	VT-3
	4* #/ U=	₩.	1箇所/ 1台
	\$	(気) 単	全数の 7.5%
2008	# # #	E 7	VT-3
持規格 JSME S NA1-2C	1 世界 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	再の図象	ポンプ台板脚
維持	1 1 1	1	F-A
	相口来口	E I	F1. 43 F-A

5. 余熱除去ポンプ

			_	_
	事		(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)
	李202	第18回		
	2021年	第一回	ı	ı
	2020年	第17回		
	2019年	第16回		A 100%
年)	2018年	第一回	I	I
計画(10力	2017年			
幾 検査	2016年			
ī発電所 第4号札	2015年	第15回	A 1箇所	
大飯発	2014年			
	2013年			
	本 米 符 田	<u>-</u> ;	代表1台の 50%(1箇所 /1台)	代表1台の 100%(2箇 所/1台)
	# # #		PT	VT-3
	小准券	以漏数	2箇所/1 台×2台	2箇所/1 台×2台
	西紫米森	傾耳靶	代表1台 の7.5%	代表1台 の7.5%
800	# # #		表面	VT-3
持規格 JSME S NA1-2008	3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	使用の対象	ケーシングの溶接継手	ポンプ台板脚
維	11,111111111111111111111111111111111111	77.17	C6. 10 C-G	F1. 43 F-A ポンプ台 <sup>4</sup>
	П	# 7	0	က္

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

0. 7.7.4.71		維持規格 JS	維持規格 JSME S NA1-2008	33						大飯発	電所 第4	号機 検査	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)	年)					
	1 1 1	4	<b>2</b> 米 6 斗 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	# *	* * *		**********	1 1 1 1	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	華 赤
頃ロ毎万	ソナエン	Ŕ	単の対象圏が	快重クボ	快運配開		快重力法				第15回			第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	
			余熱除去冷却器 出入ロライン	VT-3	代表1台 2箇所/1 の7.5% 台×2台	2箇所/1 台×2台	£−1√	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						ı	4HCV- 603 2		ı	7	4HCV-603、4HCV-613 (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	代表1台 2箇所/1 の7.5% 台×2台	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						ı			1	4V-RH- 043B (⊈	4V-RH-043A·B (重大事故等クラス2機器)
F1. 43 F-A	<u> </u>	支持構造物 🥻	余熱除去冷却器 バイパスライン	VT-3	代表1台 2箇所/1 の7.5% 台×2台	2箇所/1 台×2台	€-1/	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						1	4FCV- 614 2		1	,	4FCV-604、4FCV-614
			封水注入ライン	VT-3	代表1台 1箇所/1 の7.5% 台×2台	1箇所/1 台×2台	£-17	代表1台の 100%(1箇 所/1台)						-	4V-SI- 026A 1		ı	7	4V-SF 026A·B
			格納容器再循環 サンプ出ロライン	VT-3	代表1台 2箇所/1 の7.5% 台×2台	2箇所/1 台×2台	€-1/	代表1台の 100%(2箇 昨 / 1台)					-	_			I	4V-SI-	4V-SL 093A・B (重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	備老			RCS漏えい検査時実施				一部気圧検査						—部気圧検査	—部気圧検査						# <del># * * * * * * * * * * * * * * * * * *</del>
	2022年	第18回		-				·						•	•						
	-	第一回	I	Ι	-	I	I	I	ı	ı	I	I	I	Ι	Ι	I	ı	ı	I	I	ı
	_	第17回																	0	0	C
検査計画(10力年)	2019年	第16回		•	•	•			•		•		•					•			
		第一回	I	Ι	-	I	I	I	ı	ı	I	I	I	Ι	Ι	I	ı	ı	I	I	
所 第4号機	2017年																				
大飯発電所		4 6																			
	2015年	第15回	•					•				•									
	2014年	4 1																			
	2013年						•			• *				• **1	• **1	• *	•				
	検査方法		VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	į
+ 	使軍圧の	(мРа)	0.98	15. 41	2.06	0.34	0. 27	0. 11	18.0	18.0	17.36	0.11	0.11	水張り	水張り	0.87	0.87	0. 20	0. 19	10.01	,
		压力(MPa)	0.98	15. 41	2. 06	0.34	0. 27	0. 11	18. 0	18. 0	17. 36	0. 11	0. 11	水張り	水張り	0.87	0.87	0. 20	0. 19	10.01	
	·	イン名	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン	田田ライン(1)	田田ライン(2)	田田 リイン(3)	体積制御タンク入口ライン	体積制御タンク及び出入ロライン	A充てんポンプ出ロライン及び封水注入ライン	B充てんポンプ出ロライン	C充てんポンプ出ロライン	ほう酸混合器及び出入ロライン	ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	Aほう酸ポンプ入ロライン	Bほう酸ポンプスロライン	Aほう酸ポンプ出ロライン	Bほう酸ポンプ出ロライン	封水戻リライン	A、B高圧注入ポンプ入ロライン	A高圧注入ポンプ出ロライン(1)	(の)・ハーロモデンギャ大山中マ
<u>クラス2機器漏えい検査(1/4)</u> 維持規格 JSME S NA1-2008		系統名	1次冷却材系統								化学体積制御系統									安全注入系統	
2機器漏えし	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	I   O								I O									I   O	
7. 2572	마#디뭔	田田	C7.30 C7.70							7	C7. 30 C7. 50	2							1	C7. 30 C7. 50	. , )

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

7. クラス2機器漏	えい検査(2/4)  維持期格 JSM	E S NA1-2008						大能举雷所 筹	44 格本	計画(10九年)				
項目番号 カテゴ	日番号   カテゴリ   <u>※4.1.7551   3.11551   検査の対象箇所</u>   1日番号   カテゴリ   <u>系統名   3.11551   3.11</u>	検査の対象箇所コイン名	は最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2013年   2014年	2015年 第15回	2016年	17年 2018	年 2019年 日 第16回	2020年 第17回	2021年 2022年 第一同 第18回	備者	
	1 200	トライン B島圧注入ポンプ出ロライン(1)	10.01	10.01	VT-2	•	]  -  -  -  -  -		7	1			1	
		B高圧注入ポンプ出ロライン(2)	10.01	10.01	VT-2	*			1			ı	RCS漏えい検査時実施	
7		格納容器再循環サンプ出ロライン	水張り	水張り	VT-2				1		0	ı	ガードパイプ内包部分は検査不可	
C7. 10 C7. 30 C7. 50	安全注入系統	著圧タンク及び出入ロライン	4. 42	4. 42	VT-2				I		0	ı	一部気圧検査	
0		燃料取替用水ピット出入ロライン	水張り	水張り	VT-2				I		0	ı		
		蓄圧タンク窒素充てんライン	4. 42	4. 42	VT-2				ı		0	ı		
		蓄圧タンク注入ライン	10.01	10.01	VT-2				ı		0	ı		
		A余熱除去ポンプ入ロライン	2. 75	2. 75	VT-2				ı		0	ı		
		B余熱除去ポンプ入ロライン	2. 75	2. 75	VT-2				ı		0	ı		
C7. 50 C7. 70	米淡菜大水菜	A余熱除去ポンプ出ロライン	3. 78	3. 78	VT-2				ı		0	ı		
		B余熱除去ポンプ出ロライン	3. 78	3. 78	VT-2				ı		0	ı		
		A格納容器スプレイポンプスロライン	0. 19	0. 19	VT-2		•		ı			ı		
		B格納容器スプレイポンプスロライン	0. 19	0. 19	VT-2		•		I			ı		
		A格終容器スプレイポンプ出ロライン(1)	1.97	1. 97	VT-2		•		ı			ı		
7		A格納容器スプレイポンプ出ロライン(2)	1.97	1. 97	VT-2				ı		0	ı	気圧検査	
C7. 10 C7. 30 C7. 50	格納容器スプレイ系 統	B格終容器スプレイポソプ出ロレイン(1)	1.97	1. 97	VT-2		•		ı			ı		
2		日格終容器スプレイポンプ出ロライン(2)	1.97	1. 97	VT-2				ı	•		-	気圧検査	
		よう素除去薬品タンク及び出入ロライン	0.03	0.03	VT-2		•		I			ı	一部気圧検査	
		Aよう素除去薬品タンク出口ライン	水張り	水張り	VT-2				I		0	1		
		Bよう素除去薬品タンク出ロライン	水張り	水張り	VT-2				-		0	1		
※1.プラント長期。	※1:プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施	助時(H29)に検査を実施												

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	き 帯漏えい	クラス2機器漏えい検査(3/4) 維持規格 JSME	S NA1-2008	運転圧力又	# # \$				大飯発電所 第4	第4号機 検査計画	画(10为年)				
# #	 1 1 4		検査の対象箇所	は最高使用	使ぎにつ	検査方法	2013年 2014年		CA	H	_	-	_	022年	備 老
-lo	カテコリ	系統名	イン名	压力(MPa)	(MPa)			第15回		第一回	第16回	第17回	第一回第	第18回	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 50	H	格納容器スプレイ系 統	PH調整剤タンク及び出入ロライン	0.03	0.03	VT-2				I	•		ı	l	部気圧検査
			A蒸気発生器蒸気出ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				ı	•		1	Ř	RCS漏えい検査時実施
C7. 10	]	计被令及	B蒸気発生器蒸気出ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		I	Ŗ	RCS漏えい検査時実施
		上条メポポー	C蒸気発生器蒸気出ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		I	Ř	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器蒸気出ロライン	4. 62	4.62	VT-2				I	•		1	R	RCS漏えい検査時実施
			A蒸気発生器給水入ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				1	•		1	Ŗ	RCS漏えい検査時実施
C7. 30	]	\$ \$ * * *	B蒸気発生器給水入ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				1	•		1	Ŗ	RCS漏えい検査時実施
)		76.25.75.45.7	C蒸気発生器給水入ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		ı	Ä	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器給水入ロライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		-	Ř	RCS漏えい検査時実施
			A蒸気発生器プローダウンライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		-	Ř	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器ブローダ ウンライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		_	Ř	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器ブローダウンライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		-	Ř	RCS漏えい検査時実施
C7. 30	I C	蒸気発生器ブローダ	D蒸気発生器ブローダウンライン	4. 62	4.62	VT-2				I	•		I	Ř	RCS漏えい検査時実施
		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	A蒸気発生器プローダウンサンプルライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		_	Ř	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気 発生器ブローダウンサンプルライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		_	Ř	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器ブローダウンサンプルライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		_	ĕ	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブローダウンサンプルライン	4. 62	4. 62	VT-2				I	•		-	ĕ	RCS漏えい検査時実施
C7.30	I C	生活的用方面及称	A制御用空気ライン	0. 74	0. 74	VT-2				ı		0	_		
	=		B制御用空気ライン	0. 74	0. 74	VT-2				ı		0	_		
C7. 30 C7. 70	H	所内用空気系統	所内用空気ライン	0.7	0.7	VT-2				I		0	ı		

クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

7. 2572	機器漏えい	7. クラス2機器漏えい検査(4/4) 維持規格 JSME	S NA1-2008	運転圧力又	+ + *			
П	_		検査の対象箇所	は最高使用	使軍圧ノ	検査方法	2013年   2014年   2015年   2016年   2017年   2018年   2019年   2020年   2021年   2022年   備 考	
頃日番芍	ファコン	系統名	イン名	压力(MPa)	(мРа)		第15回 第15回 第16回 第17回 第一回 第18回	
			加圧器液相部、気相部サンブル及び1次冷却材サンブルライン	15. 41	15. 41	VT-2	- O -	
C7. 30 C7. 70	H O	試料採取系統	Dループ高温側サンプルライン	15. 41	15. 41	VT-2	О —	
			蓋圧 タンクサンプ ルライン	4. 42	4. 42	VT-2	- O -	
C7. 30	J	努多水田 鞣咀 沫網	原子炉キャビティ浄化ライン(1)	水張り	水張り	VT-2	- O -	
C7. 70		がイナ4×目 ハンンストルリ	原子炉キャビティ浄化ライン(2)	水張り	水張り	VT-2	- O -	
C7. 30	J	华 医甲二甲基苯甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲	格称容器冷却材ドレンポンプ出ロライン	0.6	0.6	VT-2	- O -	
C7. 70	E   	<b>席来</b> 勿处 垤木机	を 参容器 サンブポンプ田 ロライン	0. 2	0.2	VT-2	- O	
C7. 30 C7. 70	С-Н	1次系洗浄水系統	1次系洗浄水ライン	0. 7	0. 7	VT-2	0 -	
			CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン	0. 7	0. 7	VT-2	0	
C7. 30	]	原子炉補機冷却水系	CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン	0. 2	0. 2	VT-2	0 -	
C7. 70		挨	RCP冷却水入口ライン	0. 7	0. 7	VT-2	0 -	
			RCP冷却水出ロライン	0. 2	0. 2	VT-2	0	
C7. 30 C7. 70	С-Н	消火水系統	消火水ライン	9 '0	0.6	VT-2	0 -	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

		維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発電	<b>貳所</b> 第4号機	極	査計画(10力生	年)					
	1111	4 年 4 年 4 年 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5	**********	本	北井米	# # #	4 4 4	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	舗 地
П #		а	E 7	気道制	蒸	E 7		第15回	第-回	第16回	第17回	第-回	第18回	第19回	第-回	第20回	第21回	
				代表1基	1年出/		代表1基の										<	
C1. 10 C-A		管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	全長の	1 車への車	₽	7.5%		I			I			I		ر د د	
				7.5%	後 <b>7</b> 〜後		(1 簡 形)										2	
				代表1基	/ 供比/		代表1基の							<				
C1. 20 C-A	<b>A</b> -	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	全長の	10001	F	7.5%		I			I		1	I			
				7.5%	サンマサー		(1簡形)							0.0.7				
		1		代表1基	其1/平87		代表1基の			٥				٥			٥	
4. 10 C		C4.10   C-D   全ねじボルト	体積	全数の	耳らろ	⊢	100%		I	*		I		\ \ \	I		*	
				7 2%	H-1		(48* /1#)			5				<del>{</del>			5	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	備売															
	2026年	第21回								-	-		-	-		
	2025年	第20回			-		-			-				-		
	2024年	第-回	1	I	I	I	I	1	I	I	1	I	I	I	ı	
	2023年	第19回				-	-	٦					-	-		
_	2022年	第18回	-							-	-		1	2		
画(10力年	2021年	第-回	1	1	1	ı	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
幾 検査計画	)20年	第17回							-			-			-	
所 第4号機	19年	第16回 貧		-			-			-	-		8	ო		
大飯発電所	2018年	第-回	ı	ı	I	I	I	ı	ı	I	ı	ı	I	ı	ı	
		第15回														
	<b>基外特</b>	Ħ.	33% (1箇所)	100% (1箇所)	25% (1箇所)	9% (1箇所)	8% (3箇所)	12% (1箇所)	9% (1箇所)	8% (4箇所)	9% (3箇所)	9% (1箇所)	9% (5箇所)	8% (8箇所)	8% (1箇所)	160%
	# # # #	_	F	F	F	F	F	UT及び PT	F	F	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	
	小仙巻		3億所	1箇所	4箇所	11箇所	36箇所	8箇所	11箇所	46箇所	33箇所	11箇所	54箇所	97箇所	12箇所	
	<b>基</b>	11年 11日	全数の7.5%	全数の7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	<b>企数の7.5%</b>	を素を
	4 4 4 4 4 4	Ŕ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	※国	¥ 国	体積又は表面	体積又は表面	体積及び 表面	体積又は表面	体積又は表面	VT-3	VT-3	VT-3	VT – 3	VT – 3	•
JSME S NA1-2008	<b>本人人社会</b>		原子が補機や却水ポンプ 入ロしイン	原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン	主蒸気大気放出ライン	原子炉補機冷却水冷却器 4人コライン	原子炉補機冷却水戻り母管	主蒸気大気放出ライン	原子炉補機冷却水冷却器 クロライン	原子炉補機冷却水戻り母管	原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	格納容器再循環ユニット 入ロライン	格納容器再循環ユニット 出ロライン	格納容器スプレイポンプ 入ロライン	女 名 公 出った ニノボンル
維持規格				配管支持部 材取付け溶 接継手	<u>, ., .</u>	- ,	-	か超えの官 で公称厚さ が9.5mmを おって珍珠		. =	. ,		# ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			
ì	። "ነ ተ	7777		0			E I		L					<b>₹</b>		
	마	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		C3. 20			C5. 11		C T	٧				- N -		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

2. 配管(2/2)	2/2)	4年1年1年	# 辞書 WIN S NA1-2008							大能発電所	紫白/ 吳 / 岩		茶木平面(10七年	(					
F B	"      -	11E 13 790	1000年代 1	† + *	#	ŧ	† + *	ł!	2017年	2018年	-		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	備売
頃日番号	頃日畬寺 刀ㅜ그リ		(検査の)対象国所	使宜力法	快宜靶囲	設備剱	(検査力法)	使宜配田	第15回	第-回	第16回	第17回	第-回	第18回	第19回	第-回	H	第21回	
			格納容器スプレイ冷却器 出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	13箇所	£−1√	7.6%(1箇所)		Ι			I	1		ı			
			RHRーCSS連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	8-TV	12% (1箇所)		I			1		-	I			
F1. 21 F-A	F-A	支持構造物	恒設代替低圧注水ポンプ 出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	42箇所	£-17	9% (4箇所)		I	1	1	1		-	ı		-	
			可搬式代替低圧海水注入 ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	8-TV	100% (1箇所)		I			1			I	-		
			主蒸気大気放出ライン	VT-3	全数の7.5%	4箇所	€-L∧	25% (1簡所)		_			_	-		1			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

3. 格約%	<b>終容器スプレ</b> 4	フレポソル																
	雑	持規格 JSME S NA1-2008	800						大飯発電	≣所 第4号∤	幾 検査計	画(10力年)	(:					
日来口	+	当	**************************************	田耕州	記佛卷	お子に	本外辞田	2017年	2018年	2019年	李0202	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 2	2026年	備老
Ħ I	7 7 7	耳の心が外回	1	<b>⊒</b>	英	1	耳	第15回	一一	第16回	第17回	第-回	第18回	第19回	第-回	第20回 第	第21回	
C6. 10	C6. 10 C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	Τ٩	代表1台の 50% (1箇所/1台)		1			ı		A 50%	ı			
F1. 43	F1. 43 F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 07.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% 0倍転 /1台)		I			I			ı	A 100%		

7
λ
空
쏬
烘
Щ
南
韓
出
器
迴
4.

維持規格 JSME S NA1-2008	S NA1-200								大飯発電	<b>貳所</b> 第4号	号機 検査計	画(10为年	(:					
出班多林乡外华	発   発   一	本十二 松本統甲 記備物 按	大	4	华	##	存水器田	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	備光
且の対象回別   快旦ル本   快旦戦四   欧浦敦   快	且の対象回別   快旦ル本   快旦戦四   欧浦敦   快	且 7.1.4.1.1次 1年 11.1.1分 11.1.1分 11.1.1分 11.1分 11	自 形四 成 開 数 1 次	Ķ	K H	7	4	第15回	第-回	第16回	第17回	第-回	第18回	第19回	第-回	第20回	第21回	
T → A → A → A → A → A → A → A → A → A →	板脚 VT-3 代表1台 2箇所/ VT-3 0.7 50.4 1.4 × 1.4 VT	3 代表1台 2箇所/ 0	1台 2箇所/ V	簡所/	>	<u>8</u>	代表1台の 100%		_			I			-	100%		
- C	- C	- C	- C	<			(2簡所/1台)											

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

						19	9,0
	備		4TCV- 2392A	4TCV- 2393D	4V-CP- 024A·B	V-RH-0	4PCV- 3610,3620,
	2026年	第21回	4.8	4.0	40	4V-RH -061 4V-RH-061	4.60
	2025年	第20回	4TCV-	2 2			
	2024年	第-回		l	I	I	ı
	2023年	第19回			4V-CP -024A 1		
E)	李2002	第18回					
大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)	2021年	第-回		l	1	I	1
機 検査計	字0202	第17回					4PCV- 3610
8所 第4号	2019年	第16回					
大飯発電	2018年	第-回		l	I	I	ı
	2017年	第15回					
	本本	快宜靶齿	代表1台の	(2箇所/1台)	代表1台の 100% (1箇所/1台)	代表1台の 100% (1箇所/1台)	代表1台の 100%
	# # #	快重刀流	Ę	?    -  -	VT-3	VT-3	VT-3
		記別 数	2箇所/ 1台×1台	1箇所/ 1台×1台	1箇所/ 1台×2台	1箇所/ 1台×1台	代表1台 2箇所/ の7.5% 1台×4台
	1 3 4 4 4	快宜职型	代表1台	<i>0</i> 7.5%	代表1台 の7.5%	代表1台 の7.5%	代表1台 の7.5%
	# # *	快車ク海	£	n    -  -	VT-3	VT-3	VT-3
維持規格 JSME S NA1-2008	<b>本米化社会</b> 務店	異宜ひが  家固が	格納容器再循環ユニッ	ト出ロライン	格納容器スプレイ冷却 器 出ロライン	RHR-CSS連絡ライン VT-3	主蒸気大気放出ライン VT-3
維持規格 🧅	1	4			女 持構造物 器 田		
	: 1 1	7777					
	日本日	吳口笛万			F1. 43 F-A		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

6. 重大事故等分	重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4) 維持規格 JSME S NA1ー2008	t) NE S NA1-2008	SA時最高使用压力	林林开土					노	****	圖				
項目番号 カテゴリ	ゴリ 系統名	検査の対象箇所 ライン名	(MPa) (工認記載値)	(MPa)	検査方法	2017年 2 第15回	2018年 20 第-回 第	2019年 20 第16回 第	2020年 20 第17回 第	2021年 2022年 第-回 第18回	2年 2023年 3回 第19回	手 2024年 回 第-回	第2025年第20回	5 2026年 回 第21回	備考
C7. 30		A制御用空気ライン	0.98	0. 74	VT-2		ı			-		ı	0		気圧検査
	10年	B制御用空気ライン	0.98	0. 74	VT-2		ı			ı		I		0	気圧検査
		恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	0	水張り	VT-2		1		0	ı		I			
C7. 30 C7. 50	**************************************	恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	2. 1	2. 1	VT-2		1			0		I			
		毎圧注 ボラインとのAMライン	4. 5	4. 5	VT-2		1			0		I			
		可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	1. 55	1. 55	VT-2		1		0	-		I			
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1. 4	0.34	VT-2		ı			ı	0	ı			
		C, D原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1. 4	0.34	VT-2		1			ı		I	0		
		原子炉補機冷却水サージタンク及び出入ロライン	0.34	0. 02	VT-2		ı			0		I			
1		原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給ライン	0.34	0. 34	VT-2		1			0		I			
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 50	原子炉補機冷却水系統	充 A, D格納容器再循環ユニット冷却ライン	1. 4	1. 4	VT-2		1			ı	0	I			
)		A. D格納容器再循環ユニット冷却水放出ライン	1. 4	1. 4	VT-2		1			-	0	I			
		格納容器水素ガス試料冷却ライン	1. 4	1. 4	VT-2		1			-		I	0		
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1. 4	0.96	VT-2		1					ı		0	
		C, D原子枦補機冷却水ポンプ出ロライン	1. 4	96 .0	VT-2		_			-		ı		0	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

旅	0. 里入事政寺ソフAと做品編入い、(収重(2/4) 維持規格 JSME	S	SA時最高使用圧力	¥ \$					开	9662	検査計画(10カ年	L				
			(MPa)	使宜压力	検査方法	H	┺			⊢	_	⊢	-	-	)26年	華
系統名	ı I	ライン名	(工認記載値)	(MPa)		第15回	第-回	第16回 第	H	第一回	第18回	第19回	第-回	第20回 第	第21回	
		Aアニュラス空気浄化ファン出ロライン	0. 0048	0.0048	VT-2		I			ı			ı	0	②	気圧検査
基件 化 單 化 化 單 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 化 量 和 量 和		Bアニュラス空気浄化ファン出ロライン	0. 0048	0. 0048	VT-2		I			1			1	0	気	気圧検査
JAK Kara HXX Ki		中央制御室空調設備入ロライン	-0.00392	I	*		ı			1	0		1			
		中央制御室空調設備出ロライン	0.00392	ı	*		I			ı	0		I			
		体積制御タンク出ロライン	0.98	0. 11	VT-2		ı		0	ı			ı			
		A充てんポンプ出ロライン	20.0	18. 0	VT-2		ı			ı	0		ı			
		B充てんポンプ出ロライン	20.0	18. 0	VT-2		ı		0	ı			ı			
		0 充てんポンプ出ロライン	20.0	17. 36	VT-2		ı		0	ı			ı			
		充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ出口側)	20. 0	18.0	VT-2		ı			1		0	1			
化学体積制御系統	桊	充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ入口側)	0.98	0. 98	VT-2		ı			1			Ι		0	
		ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.98	0. 11	VT-2		I			1	0		Ι			
		Aほう酸ポンプスロライン	0.05	水張り	VT-2		I			1		0	I		ju j	部気圧検査
		Bほう酸ポンプ入ロライン	0.05	水張り	VT-2		I			1		0	I		i i	部気圧検査
		Aほう酸ポンプ出ロライン	1. 4	0.87	VT-2		ı			ı		0	ı			
		Bほう酸ポンプ出ロライン	1.4	0.87	VT-2		I			ı		0	ı			
	l							1	4	9	ė	•	•	Ξ	Ξ	

※1:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	雇			RCS漏えい検査時実施		RCS漏えい検査時実施	ガードパイプ内包部分は 検査不可	一部気圧検査					
40000	2026年 第21回												
4,000	2025年 第20回		0	0									
4,000	2024年 第-回	ı	I	1	I	1	1	1	1	I	ı	1	
	2023年 第19回				0	0		0					
	2022年 第18回	0					0						
第45版	2021年 第-回	ı	I	I	I	ı	ı	I	ı	I	I	ı	
人取先電所	2020年 第17回								0	0	0	0	
г	2019年 第16回												
40,00	2018年 第-回	ı	I	ı	I	ı	ı	ı	ı	I	I	1	
42,00	2017年 第15回												
: + *	<b>検</b> 宣万法	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	
検査圧力	(MPa)	0. 19	10.01	10.01	10.01	10.01	水張り	4. 42	水張り	2. 75	2. 75	3. 78	
SA時最高使用压力	(MPa) (工認記載値)	0.39	16. 7	16. 7	16. 7	16. 7	0. 43	9 .4	0	5 .4	5 .4	4. 5	
S	(検査の) 対象 歯 所 ライン名	A、B高圧注入ポンプ入口ライン	A高圧注入ポンプ出ロライン(1)	A高圧注入ポンプ出ロライン(2)	B高圧注入ポンプ出ロライン(1)	B高圧注入ポンプ出ロライン(2)	格納容器再循環サンプ出ロライン	蓄圧 タンク及 び出ロライン	燃料取替用水ピット出ロライン	A余熱除去ポンプ入ロライン	B余熱除去ポンプ入ロライン	A余熱除去ポンプ出ロライン	
維持規格 USME	系統名	安全								余熟除去系統			
	カテゴリ		I I O								=	E I	
	項目番号	C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70								C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

#	Ĺ							揖	娼	掲	掲	施	施	施	施		
书	Ħ,				気圧検査		気圧検査	プラント起動時実施	プラント起動時実施	プラント起動時実施	プラント起動時実施	プラント起動時実施	プラント起動時実施	プラント起動時実施	プラント起動時実施	気圧検査	気圧検査
9006年	第21回															0	0
9095年	+		0			0	0										
9094年	+	ı	I	ı	I	ı	I	I	ı	I	ı	1	I	I	I	ı	I
(10为年)	第19回	0		0	0												
検査計画(10力年)	+							0	0	0	0	0	0	0	0		
	第-回	ı	ı	I	ı	I	1	1	I	1	I	ı	1	1	I	ı	1
	第17回																
大 4010年	$\neg \neg$																
9010年	++	ı	ı	I	I	I	ı	I	I	I	I	1	I	ı	I	ı	I
9017年	第15回																
十 分 经		VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2	VT-2
-	(MPa)	0. 19	0. 19	1. 97	1. 97	1. 97	1. 97	7. 4	7. 4	7. 4	7. 4	7. 4	7. 4	7. 4	7. 4	0.98	0.98
SA時最高使用压力	(工器記載値)	0.39	0.39	2. 7	2. 7	2. 7	2. 7	& &	8 8	8 .	8 8	8 .8	& &	& &	& &	0. 98	0.98
1/4/ S NA1-2008 基格心验检照	は且いが楽画加	A格納容器スプレイポンプ入口ライン	B格納容器スプレイポンプスロライン	A格納容器スプレイポンプ出ロライン(1)	A格納容器スプレイポンプ出ロライン(2)	B格総容器スプレイポンプ出ロレイン(1)	B格納容器スプレイポンプ出ロライン(2)	A蒸気発生器蒸気出ロライン	B蒸気発生器蒸気出ロライン	C蒸気発生器蒸気出ロライン	D蒸気発生器蒸気出ロライン	A蒸気発生器給水入ロライン	B蒸気発生器給水入口ライン	C蒸気発生器給水入口ライン	D蒸気発生器給水入口ライン	格納容器水素ガス試料採取系統 入ロライン	格納容器水素ガス試料採取系統 出ロライン
里入事政寺ソフA2版添漏えい使宜(4/4) 維持規格 JSME S 	系統名			格納容器スプレイ	系統				+ + + + +	工条对未机			**************************************	上档 小米帆			n.不干抹 以 术 初L
改帯ソフト	カテゴリ	_		=	E I D				]				=	E I D		(	E   
6. 里入事	項目番号			C7. 10 C7. 30	C7. 50 C7. 70				C7. 10	C7. 30 C7. 70			C7.30	C7. 70		C7. 10	C7. 70

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

	二 二 一																
大飯発電所 第4号機 檢查計画(10力年)									クラス1機器供用期間中検査で管理								
	検査範囲	全長の 5%	全長の 5%	全長の 5%	全長の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 100%	全数の 25%	全範囲の 7.5% 各検査時期毎	全範囲の7.5%
	検査方法	体積	体積	体積	体積	体積	体積	体積	体積及び 表面	体積及び 表面	VT-1	体積	体積	VT-1	VT-1	VT-3	VT-3
	検査の対象箇所	上部胴と下部胴との周溶接継手	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	トランジションリングと下部鏡板との周溶 接継手	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	冷却材入口管台と胴との溶接継手	手が対出口管台と胴との溶接継手	冷却材入口管台内面の丸みの部分	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接 継手	冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接 継手	ナット	スタッドボルト	胴フランジネジ穴のネジ部	上蓋用ワッシャ	T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルトナット	原子炉容器内部	内部取付け物
	カテゴリ				В-С	٥	)   	B-D	L		B-G-1	B-G-1	B-G-1	B-G-1	B-G-2	G-P-1	G-P-1
	項目番号		B2. 111 B-B		B3. 105	C 7 0		B3. 20	C T U		B6. 10	B6.30	B6. 40	B6. 50	B7. 10	G1. 10	G1. 40

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

1. 原子炉	1. 原子炉容器(2/2)			-		
		維持規格 JSME S NA1-2008	8		大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	
項目番号	トカテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		童
G1. 40	G1. 40 G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%		
G1. 50	G1.50 G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%		
0		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	体積又は	最外周	クラス1機器供用期間中検査で管理	
0 		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(下部)	長恒	25%		
B15. 10 B-P	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		
F1. 41 F-A	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)									クラス1機器供用期間中検査で管理						
	<b>食査範囲</b>	全長の 5%	全長の 5%	全長の 10%	全長の 10%	全長の 10%	全長の 5%	全長の 5%		全数の	25%			全数の	25%
	検査方法 検査範囲	体積 全長の 5%	体積 全長の 5%	体積   全長の     10%	体積 全長の 10%	体積 全長の 10%	体積 全長の 5%	体積 全長の 5%			144頃 25%				本
維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所 検査方法 検査範囲								安全弁用管台と容器との溶接継手			サージ用管台と容器との溶接継手	安全弁用管台内面の丸みの部分		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

2. 加圧器(2/2)	(2/2)	維持規格 JSME S NA1-2008			大飯祭電所 第4号機 検査計画(10分年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	( 検査範囲		<b>兼</b>
		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手				
	L	逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び			
		スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手	展			
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手			クラス1機器供用期間中検査で管理	
B7. 20 E	3-6-2	B-G-2マンホール取付ポルト	Y 1 − T	全数の 25%		
B8. 20 E	В-Н	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面又は 体積	全長の 7.5%		
B15. 20B-P	3-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		
F1. 41 F-A	A-=	支持構造物(スカート、基礎ポルト含む)	VT-3	全数の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

検査の対象箇所       検査が決 検査       体積       企業の対象箇所       体積       企業の対象箇所       体積       企業の         冷却材入口管台の内面の丸みの部分       体積       全数の       25%       (本表・基金)       (本本・基金)       (本本本・五本・本本・五本・五本・五本・五本・五本・五本・五本・五本・五本・五本・		維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	
管板と水室鏡板との溶接継手       体積 全長の 全長の 全長の         冷却材入口管台の内面の丸みの部分 冷却材出口管台の内面の丸みの部分 冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手 (本類 1並 全数の 表面 25%       (本表 1基 を数の 表面 25%         1次側マンホールボルト(人口側)       (本表 1基 を数の 1次側マンホールボルト(出口側)       (本表 1基 全長の 7.5%         水室鏡とサボートパッドとの溶接継手 水室鏡とサボートパッドとの溶接継手 表面 全長の 7.5%       表面 全長の 7.5%         水室鏡とサボートパッドとの溶接継手 大室鏡とサボートパッドとの溶接継手 表面 全長の 7.5%       表面 全長の 7.5%         大型機造時 25%       (本表 1基 (本表 1本 (本表 1基 (本表 1 基 1 (本表 1 E 1 (本本 1 E 1 (		カテゴリ 検査の対象箇所	検査方法	t 検査範囲		華
冷却材入口管台の内面の丸みの部分       体積 全数の 25%         冷却材出口管台の内面の丸みの部分 冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 方却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手 1次側マンホールボルト(从口側)       体積及び 全数の 25%       企数の 25%         水室鏡とサポート/シバとの溶接継手 水室鏡とサポート/シバとの溶接継手 表面       表面 25%       体表 基 25%         水室鏡とサポート/シバとの溶接継手 水室鏡とサポート/シバとの溶接継手 ま面       表面 35%       体表 基 25%         大型様様造物       VT-2       検査・時 100%         支持構造物       VT-3       体表 1基 3025%	B-B		体積	代表1基 全長の 25%		
冷却材出口管台の内面の丸みの部分       主5%         冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手       本積及び 全数の 25%         冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手       (表1基 全数の 25%         1次側マンホールボルト(人口側)       (大五側)         水室鏡とサボートがドとの溶接継手       表面 全長の 7.5%         水室鏡とサボートがドとの溶接継手       表面 全長の 7.5%         東京鏡とサボートがデとの溶接継手       表面 2.5%         大字鏡をサボートがデとの溶接継手       表面 2.5%         大子鏡を時       100%         支持構造物       VT-3 位表1基 0.0%         マナ棒構造物       VT-3 位表1基 0.0%		冷却材入口管台の内面の丸みの部分	##	代表1基		
冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手 1次側マンホールボルト(人口側)       (株表1基 全数の 25%         水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 表面       株表1基 全数の 7.5%         水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 100%       表面 100%         支持構造物       VT-2 100%         マブー3 25%	ב	冷却材出口管台の内面の丸みの部分	<b>*</b>	上表 25%		
冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手       表面       主5%         1次側マンホールボルト(人口側)       (木表1基金ののでである)       (木表1基金ののででである)         水室鏡とサボートバッドとの溶接継手       表面       全長のののである。         下力保持範囲       (大下一口のののでは、大下のののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下のでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下のでは、大下のでは、大下ののでは、大下のでは、大下のでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下ののでは、大下のでは	L		体積及び	、代表1基		
1次側マンホールボルト(人口側)     VT-1       1次側マンホールボルト(出口側)     水室鏡とサポートパッドとの溶接継手     表面       圧力保持範囲     VT-2       支持構造物     VT-3	L			主致(0) 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
1次側マンホールボルト(出口側) 水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 表面 圧力保持範囲 VT-2 支持構造物 VT-3	(		Ļ	代表1基		
水室鏡とサポートパッドとの溶接継手 正力保持範囲 VT-2 支持構造物 VT-3	5		-    -  -	25%		
M	B H		者 国	代表1基 全長の 7.5%		
支持構造物 VT-3	_	圧力保持範囲	VT-2			
	∢		VT-3			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

帮	維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10分年)	
	検査の対象箇所	検査方法	. 検査範囲		垂 木
	1次冷却材管	体積	全数 25%		
	加圧器サージレイン	体積	全数 25%		
<	加圧器安全弁ライン	体積	全数 25%		
記述を経事 により (呼び径100A に、下・国総主	加圧器逃がし弁ライン	体積	全数 25%		
È	余熱除去ポンプ入ロライン	体積	全数の 25%		
	SIS蓄圧注入ライン	体積	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
	SIS低温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%		
	加圧器逃がし弁ライン	表面	全数の 25%		
配管の同種金 属溶接継手	余熱除去ポンプ入ロライン	<b>表面</b>	全数の 25%		
(呼び径100A 未満:周継手)	CVCS充てんライン	<b>表面</b>	全数の 25%		
	SIS低温側高圧補助注入 ライン	表面	全数の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

維持規格 JSME S NA1-2008	3 JSME S NA1-2008			_ !	大飯発電所 第4号機 検査計画(10分年)
検査の対象箇所 検査が法 検査範囲	検査方法	検査方法 検査範囲	検査範囲		
母管との浴 接継手呼び径 1次冷却材管 体積 全数の 100A以上)	1次冷却材管 体積		全数の 25%		
1次冷却材管 表面 全数の 25%	秦面		会 数 73	6%	
母管と管台との溶 条熱除去ポンプ入口ライン 表面 全接継手	¥ 回		₩ ~	全数の 25%	
条 画	条 画		₩ ~	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
SIS低温側低圧注入ライン 表面 全	<b>美</b>		₩ ~	全数の 25%	
ソケット溶接総 SIS低温側高圧補助注入ライン 表面 手	SIS低温側高圧補助注入ライン表面		Ail	全数の 25%	
耐圧部分への 支持部材の取 余熱除去ポンプ入ロライン 表面 付け溶接継手	<b>全</b>			全数の 26%	
(本)     (本)     (大)     (大) <	VT-2	漏えい VT-2 検査時 100%	編教 100	ら性%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

4. 配管(3/3)	3/3)						
		維持規科	維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10分年)	
項目番号	<sup>3</sup> カテゴリ		検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	検査範囲		華
			加圧器サージレイン	VT-3	全数の 25%		
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の 25%		
			CVCS充てんライン	VT-3	全数の 25%		
F1. 10 F-A	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の 25%		
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%		
			SIS低温側高圧補助注入ライン VT-3		全数の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

		維持規格 JSME S NA1-2008	8		大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	
項目番号	ካቸተለ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		華
B6. 180		主フランジボルト	体積	代表1台の 25%		
B6. 190	B-G-1	B6. 190 B-G-1 主フランジ表面	VT-1	VT-1 代表1台の 25%		
B6. 200		生フランジナット・ワッシャ	VT-1	VT-1 代表1台の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B12. 20	B-L-2	B12. 20 B-L-2 ケーシングの内表面	VT-3	VT-3 代表1台の 100%		
B15. 60 B-P	В-Р	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		
F1. 41 F-A		支持構造物	VT-3	VT-3 代表1台の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

0. #(1/ 2)		L			一世のの周二 は、10年 10年 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11	
-	提	維持規令 JSIME S INAI - ZOO8			人政死电灯 男4芍饺 快宜訂凹(10刀牛)	
項目番号力	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	: 検査範囲		無
		加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	र के क	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057
		- 7 中学 学 田 土 年	VT-1	代表1台 の25%	4	4V-RC-054A·B
		11年的 ないよく イン・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・	VT-1	代表1台 の25%	_ <del>**</del>	4PCV-452A·B
B7. 70 B·	直径50mm 以下の圧力 以下の圧力 保持用ボル ト籍件1+部	0mm 2圧カ 3圧カ Aボル CVCS充てんライン 1寸能	VT-1	代表1台 の25%	***	4V-CS-164 4V-CS-166
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1台 の25%	4	4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A·B
		SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4 クラス1機器供用期間中検査で管理 4	4V-SI-134A·B·C·D 4V-SI-136A·B·C·D
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4	4V-RH-050A·B·C·D
		加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	<u>वि</u>	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057
C T	かり の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	条熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1台 の100%	<u> </u>	4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A·B
0 0 0 1 1 0	M   2   00   4   2   2   3   4   3   3   4   3   3   3   3   3	箱 SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%		4V-SI-134A·B·C·D 4V-SI-136A·B·C·D
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4	4V-RH-050A·B·C·D
B15. 70 B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

0. #(4/ 4)	,					
	释	維持規格 JSME S NA1-2008	~		大飯発電所 第4号機 検査計画(10分年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	: 検査範囲		= 赤
		加圧器安全弁ライン	VT-3	VT-3 代表1台 の25%	4V-RC- 4V-RC- 4V-RC-	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057
14	± 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	アート サ荘藤寺省 世 円架 学大 仕したい	VT-3	VT-3 代表1台 の25%	- 4V-RC- 4V-RC	4V-RC-054A·B
	<u>{</u>		VT-3	VT-3 代表1台 の25%	3PCV-4	3PCV-452A·B
		余熱除去ポンプ入ロライン		VT-3 代表1台 の25%	4PCV-4 4V-RH-0	4PCV-420、4PCV-430 4V-RH-002A·B

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

NRA文書(原規技発第1408063号)   大飯発電所 第4号機 核重検査の対象箇所     検査の対象箇所   検査方法   検査範囲	63号)   大飯発電所 第4号機     後產範囲   検査頻度	63号)   大飯発電所 第4号機     後產範囲   検査頻度	大飯発電所 第4号機	第4号機	検査計画(10カ年)	輔
F 7 8 8	原子炉容器底部の表面	ı	ı	1000/5年	クラス 1機器N議合金使用部位特別検査で管理	
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所	5		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

NRA文書 (原規技発第1408063号) 検査の対象箇所 検査方法 検査範囲	力法	検査範囲	
配管 — — —			
充てんライン (3B) 体積 25%		25%	
再生熟交換器連絡管 — — —		I	
充てんライン連絡管(3B) 体積 25%		25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

i damen		維持規格 JSME S NA1-2008			飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		曲 布
C1. 10 G-A	C – A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	本	代表1基 全長の 7.5%		
C1. 20 C-A	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
	<u> </u>	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び	代表1基 今考6	クラス2機器供用期間中検査で管理	
2 .		管側出口管台と管側胴との溶接継手	条 回	1.5%		
C4. 10 C-D		全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

本 体 体 を が で の の の の の の の の の の の の の	7、  全 7   全 7   全 7   全 7
方   面   面   面   面   面   面   個   個   個   個	体       人       人

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

		維持規格	§ JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	
項目番号	カテゴリ		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		備 老
	LI C		格納容器再循環サンプ出口 ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%		
		<b>呼び径100Aを</b> 超える管で公 教 同さがの	燃料取替用水ピット出ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%		
с т (	L	#/Jec/v'9.9mm を超える溶接 継手	余熱除去ポンプ 入ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%		
	   		燃料取替用水ピット出ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%		
		呼び径50A以	画田 洋入ポンプ田ロライン	条 回	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C5. 21	O F	上100A以下の 管で公称厚さ が5mmを超え	高圧注 入ポンプ出口連絡 ライン	条 面	全数の 7.5%		
		る溶接継手	SIS低温側高圧補助注入 ライン	条 回	全数の 7.5%		
C5. 30	C-F	ンケット溶接継号	SIS低温側高圧補助注入 ライン	条 面	全数の 7.5%		
C5. 41	C – F	呼び径50Aを超 える母管と管台 及び母管と枝 管との溶接継 手	型 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	表 画	全数の 7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

太飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)						クラス2機器供用期間中検査で管理				
(多) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の7.5%	全数の 7.5%	全数の7.5%	全数の 7.5%	全数の7.5%	全数の 7.5%	全数の 7.5%	全数の7.5%
検査方法 検査範囲	VT-3 全数の 7.5%									
JSME S NA1-2008 検査の対象箇所 検査方法	m			m	m	VT-3			3 ← 7	₩ /-
1-2008 検査方法	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3	VT-3		VT-3	VT-3	VT−3 ≙	VT−3 ≩

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

3. 充 ちんボング	ドソレ				
	絡	維持規格 JSME S NA1-2008	8		
項目番号 カテゴリ	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C3. 30 C-C	0-0	ポンプ支持部材取付け溶接継 手	表面	全数の 7.5%	
C4. 30	C-D	C4. 30 C-D ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C6. 10	5-0	C6.10 C-G ケーシングの溶接継手	<b>※</b>	代表1台 の7.5%	
F1. 43	F-A	F1.43 F-A ポンプ合板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	

	維	持規格 JSME S NA1-20	08		大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)
項目番号	ナカテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
1. 43	F1. 43 F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

	二		
大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)		クラス2機器供用期間中検査で管理	
	検査範囲	代表1台 の7.5%	代表1台 の7.5%
8	検査方法	表面 0	VT-3
維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	C6.10 C-G ケーシングの溶接継手	ポンプ台板脚
維	カテゴリ	5-0	F-A
	項目番号	C6. 10	F1. 43 F-A

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

		維持規格 JS	維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10分年)	
項目番号	カテゴリ	横	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	概	龍
		AK CT	余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	AHC 4HC 4HC 4HC 4HC 4HC 4HC 4HC 4HC 4HC 4	4HCV-603 4HCV-613
F1. 43	F1. 43 F-A	支持構造物	余熱除去冷却器出口 ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理 4V- 0.04	4V-RH- 043A·B
		<u>1 +← 1\</u>	格納容器再循環サン プ出ロライン	VT-3	代表1台 の7.5%	4V-	4V-SF 093A·B

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

1. 原子炉格納容器

	華		
	2026年	第21回	
	2025年	第20回	0
	2024年	第一回	I
	2023年	第19回	
5年)	李202	第18回	
検査計画(10カ年)	2021年	第一回	I
第4号機 検引	2020年	第17回	
大飯発電所 第	2019年	第16回	
大飯	2018年	回一崽	_
	2017年	第15回	
	検査範囲		25%
	検査方法		VT-4 25%
	逐備数		1箇所
	検査方法 検査範囲		VT-4 25%
	検査方法		VT-4
維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所		機器搬入口 (PEN #540)
維持			圧力保持 用ボルト 締付け部
	カテゴリ		E-G
	項目番号		E8. 10 E-G

# 重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

嘂
_
短
<b>₹</b>
六
拉
火
獭
海
炉補
Ň
声
<u></u>

II	維持規格、	#持規格 JSME S NA1 — 2008	3008					K	大飯発電所	第4号機	検査計画(10ヵ年)	(10 力年)						
Ţ	ı	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	検査	田 料 全	=元/# ※6	検査	田 材 全	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 20	2026年	華老
11	Ĭ,	(快量の)対象固別	力法	快宜即出	127.11.11.30	力法	快軍制	第15回	第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	第19回	第一回	第20回 第	第21回	
0	C-A	胴側胴と胴側フランジ との 周継手	体積	代表1基の 溶接継手 長さの7.5%	2箇所/1基 ×1基 (A)	5	代表1基の 7.5% (2箇所)		I			I			I	A 7. 5%		
	C – A	胴側胴の周継手	本	代表1基の 溶接継手 長さの7.5%	2箇所/1基 ×1基 (A)	5	代表1基の 7.5% (2箇所)		I			I			I	A 7. 5%		
	0	胴側入口管台と胴側胴 との溶接継手	体積及び	代表1基の	1箇所/1基 ×1基 (A)	び基式	代表1基の									∢		
_	 0   	胴側出口管台と胴側胴 との溶接継手	<b>美</b> 面	主教の 7. 5%	1箇所/1基 ×1基 (A)	ΡΤ	(1箇所)		I			I			I	入口側		
		胴側入口管台内面の丸 みの部分	###/	代表1基の	1箇所/1基 ×1基 (A)	Ŀ	代表1基の									٨		
	n   	胴側出口管台内面の丸 みの部分	神頂	王欽(U) 7.5%	1箇所/1基 ×1基 (A)	5	(1箇所)		I			I			I	入口側		
	0-C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の 溶接継手数の 7.5%	3箇所/1基 ×1基 (A)	ЪТ	代表1基の 100% (3箇所)		I			I			-	A 100%		
	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	3箇所/1基 ×1基 (A)	VT-3	代表1基の 100% (3箇所)		Ι			-			-	A 100%		

2.原子炉補機冷却水ポンプ(1/1)

- 1					
	備考				
		2026年	第21回		
		2025年	第20回		
		2024年	第一回		I
		2023年	第19回		
	F)	李202	第18回	٧	100%
	<b>検査計画(10ヵ年)</b>	2021年	第一回		I
	号機 検査計	2020年	第17回		
	第4	2019年	第16回		
	大飯発電所	2018年	第一回		I
		2017年	第15回		
		茶	仅且則四	代表1台	(4箇所)
		検査	力法	C E	n  -  -
		設備数		4 箇所/1 台 × 2台	(A, B)
		検査範囲		代表1台	07.5%
	•	検査	力法	ţ	ე    -
	維持規格 JSME S NA1-2008	<b>长本</b> の対象策正	(突圧の水) 米固の	돌보수가	FーA ペンプロ校園
		カテ	Ţ		
		項目	無	5	F1.43

重大事故等クラス2機器供用期間中検査実績及び計画

ဂ်။	11	女 中 ン	<u>フヘン(気) 清元 プラン(対) フラン(対) まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</u>	<u>3.里 入事 改寺 クフト (協語/開入し) 快官 (1/1)</u> 維持規格 JSNE S NAI — 2008	田野戸番田						大飯発電所		第4号機 検査計画(10ヵ年)	[(10 力年)				
	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		14.	検査の対象箇所	田力田力	検査圧力	検査・サー	2017年	2018年	2019年	2020年		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	龍布
	中 中	ıμ	系統名	ライン名	(工認記載値)	(ME d)	417	第15回	回 一 账	第16回	第17回	回   账	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	
				A 海水ポンプライン	1. 2	0.098	VT-2		Ι			I		0	I			
			原子炉補機	B 海氷ポンプライン	1. 2	0.098	VT-2		-			I		0	I			
	C7.50 C7.70	D-B	冷却海水系統	C 海水ポンプライン	1. 2	0.098	VT-2		Ι			I		0	I			
				A 海米ヘッダ 出ロライン	1. 2	0.098	VT-2		1			1		0	I			
50				A. B電動補助給水ポンプ入 ロライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2		I			ı	0		I			
				タービン動補助給水ポンプ入 ロライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2		_			-			_	0		
	C7.30 C7.50 C7.70	H O	補助給水系統	A 電動補助給水ポンプ出ロライン	13.1	9. 4	VT-2		I			I	0		I			
				B 電動補助給水ポンプ出ロライン	13.1	9. 4	VT-2		I			I	0		Ι			
				タービン動補助給水ポンプ出 ロライン	12. 7	9. 4	VT-2		_			_			_	0		
		:	非常用ディー	Aー非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン	3. 2	2. 501	VT-2		1			1			_	0		
	OC. LO	I I J	イン光电板系統	B - 非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	3. 2	2. 501	VT-2		_			I			-	0		

重大事故等クラス2供用期間中検査実績及び計画

・プレストレストコンクリート格納容器

	華						
	2026年	第21回					
	2025年	第20回	0	0	0	0	0
	2024年	第一回	I	I	-	I	I
	2023年	第19回					
	2022年	第18回					
	2021年	第一回	I	I	ı	I	I
	2020年	第17回	0	0	0	0	0
10ヵ年)	2019年	第16回					
機 検査計画(	2018年	第一回	I	I	I	I	I
大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)	2017年	第15回	•*	•*	•*	•*	•*
大飯	世界	頻度	PCCVーISIの 頻度による	PCCVーISIの 頻度による	PCCVーISIの 頻度による	PCCVーISIの 頻度による	PCCVーISIの 頻度による
	田	快運動団	PCCV表面選定部位 検査テンドン定着部周辺	ライナプレート表面選定部位	検査テンドンの緊張材定着部表面	レープ・レ・ドン 4 本 街 ロ・ア・ドン 3 本	検査テンドンの端部から採取
	# # #	快重力法	目視検査	目視検査	目視検査	緊張力確認検査	防錆材検査
	地景像样心学教	(欠重の)対象圏が	海4ーバウベロ	ポイーププイナラ	緊張材定着部	イオイチ	协箭材

※平成28年度実施のプレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査自主検査の記録確認

供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査実績及び計画

	AN R	NRA文書 原規技発第1408063号※1	1								'`	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)	第4号機	検査計画(	(10力年)								
項目	1,12	华本 小 社会 衛 肝	田学光学	*************************************	記/准粉	*************************************	# #	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年 2	2018年 2	2019年 2	2020年 2	2021年	2022年	2023年	赤龍
番号		次月のグダ圏が	次車ノル	五 三 三	X 删 X	文庫フル	国計画	第一回	第13回	第14回	0			第15回			第一回	第16回 第	第17回	第一回	第18回	第19回	
		配管	Ι	ı	Ι	I	Ι	ı	I	ı	ı			ı			Ι	ı	ı	-	ı	ı	
		曲出水ライン(3B)	体積	25%	19箇所	UT	5	I	2								Ι	1	1	-	1		
	-	充てんライン (3B)	体積	25%	35箇所	UT	6	I	4					2			Ι		2	-		1	(重大事故等クラス2機器)
I		再生熱交換器連絡管	Ι	Ι	Ι	I	Ι	I	ı	ı	ı			I			Ι	Ι	ı	-	ı	Ι	
		抽出水ライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	I		1							_	1		_	1		
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	Ι		1							-	1		Ι		1	(重大事故等クラス2機器)

※1:2014年8月以降は「NRA文書 原規技発第1408063号」を適用

供用期間中特別検査のうちクラス1機器N i 基合金使用部位特別検査実績及び計画

并世	重ん			重大事故等クラス2機器)
	2027年	第22回	I	
	2026年	第21回	I	
	2025年	第20回	I	
検査計画(10力年)	2024年	第-回	I	I
	2023年	第19回	I	0
所 第4号機	2022年	第18回	I	
大飯発電所	2021年	一一美	I	I
	2020年	第17回	I	
	2019年	第16回	I	•
	2018年	第-回	l	I
	松木哲中	自然	1000 / F A	#c /«
063号)	(063号) 検査範囲		I	58箇所
技発第1408	44444444444444444444444444444444444444	ЕZ	I	BMV
NRA文書(原規	<b>本本の社の</b> 御用	且い刈氷固	(子炉容器底部の表面	計装用貫通部溶接継手
	松品	ᄪ	四 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	\$ }  -

- 3. 施設定期検査期間中に実施した使用前検査対象工事等
- (1) 施設定期検査期間中に実施した使用前検査対象工事の実績

No	件 名	実 施 結 果	備考
1	計装用電源装置改造工事	計装用電源については、装置を構成する主要 部品が製造中止となっており、設備の機能維持 の観点から、保守性の向上を考慮し取り替えを 実施した。	・工事計画認可申請 (平成 24 年 2 月 22 日付 関原発第 476 号) 電気事 業法に基づく申請 ・工事計画変更認可申請 (平成 30 年 10 月 5 日付 関原発第 322 号) ・工事計画認可補正申請 (2019 年 4 月 17 日付 関原発第 19 号)
2	高エネルギー アーク損よび 策工事線・新綾 お線系統変更 工事	その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備において、高エネルギーのアーク放電による電気盤の損壊の拡大を防止するための措置を実施した。 また、常用電源設備の大飯発電所に接続する500kV送電線の系統構成の変更については、2020年1月完了予定。	・工事計画認可申請 (平成 30 年 9 月 28 日付 関原発第 295 号) ・工事計画認可補正申請 (平成 31 年 1 月 31 日付 関原発第 489 号)

- (2) 行政指導文書等の点検指示による検査の実績なし
- 4. 施設定期検査成績書における所見及び処置なし

## 5. 放射線業務従事者の実績線量

(1) 放射線業務従事者の実績線量

件 名	区分	従事者数 (人)	総線量 (人・ <b>Sv</b> )	平均線量 ( <b>mSv</b> )	最大線量 ( <b>mSv</b> )
	社 員	297	0.01	0.04	0.77
総計	社員外	1,608	0.29	0.18	2.85
	合 計	1,905	0.31	0.16	

- 1. 測定器:電子式線量計
- 2. ホールボディカウンタでの測定結果により、内部被ばくはなかった。 (預託線量 1 mSv / 5 0 年未満)
- (2) 個人最大実績線量が1日当たり1.00mSv を超えた作業の実績線量

作業内容	個人最大実績線量 (mSv/day)
該当なし	

1. 測定器:電子式線量計

### 参考 前回定期事業者検査における実績線量

作業内容	個人最大実績線量 (mSv/day)
該当なし	

1. 測定器:電子式線量計

### (3) 各作業の総線量

		作業件名	総線量 [人・S v]
		主冷却材ポンプ関係	0.06
定	内	蒸気発生器関係	0.03
期事業者		原子炉容器関係	0.03
定期事業者検査作業	訳	弁関係	0.02
業		その他	0.11
		小 計	0.25
		原子炉容器スタッドボルトテンショナ装置取替工事	0.01
	内	ルーズバックシート弁取替工事	0.01
改良・改造工事		特重設備購入N-2その3電気・計装	0.01
造工事	訳	1次系配管他点検工事	0.01未満
		その他	0.03
		小 計	0.06
		合 計	0.31

(注1)線量は、四捨五入した数値を記載してあるため合計値が合わないことがある。

# ○計画(予想)総線量との比較評価

今回の定期事業者検査では、定期事業者検査作業および改良・改造工事とも作業環境線量当量率が低下していたことから計画線量を下回る結果となった。実績総線量は、計画総線量 $0.66 \cdot Sv$  に対して、 $0.31 \cdot Sv$  となった。